

2024年7月2日

第102回定時総代会議事録

富 国 生 命 保 険 相 互 会 社

第 102 回定時総代会議事録

富 国 生 命 保 険 相 互 会 社

2024 年 7 月 2 日（火曜日）午前 10 時 00 分、東京都千代田区内幸町二丁目 2 番 2 号、富国生命本社 28 階会議室に於て、全取締役 12 名（米山好映、林俊勝、渡部毅彦、北村康幸、砂本直樹、柳正憲、佐藤広、小巻亜矢、櫻井祐記、鳥居直之、近藤健、吉田勇治）及び全監査役 5 名（根津嘉澄、高橋恭平、大谷邦夫、黒田啓一、重松秀明）が出席し、第 102 回定時総代会を開催した。

- ・総代数 118 名（定数 120 名）
- ・出席総代数 118 名（うち、委任状による出席 13 名）

1. 開会

午前 10 時 00 分、定款第 20 条の定めにより、代表取締役社長米山好映が議長となり、開会を宣した。

次に、議長は、本日の出席総代数が、委任状を含め、本総代会の議案の決議に必要な定足数を充足しており、適法に成立した旨を述べた。次いで、本日上程される議案のうち第 3 号議案は、定款第 40 条に定める特別決議による事項であり、また、その他の議案は定款第 21 条に定める普通決議による事項であることを述べた。

2. 議事の経過の要領及びその結果

1) 監査報告

議長は、まず、重松監査役に監査報告を求めた。同監査役は、監査の方法、内容及び結果は、監査役会の監査報告書謄本記載のとおりであること、また、本総代会に提出の全ての議案及び書類は、法令・定款に適合しており、指摘すべき事項

はない旨を述べた。

2) 報告事項の報告

議長は、2023 年度事業報告の件、2023 年度貸借対照表、損益計算書及び基金等変動計算書報告の件、相互会社制度運営報告の件について、スライドを用い、ナレーションにて報告を行う旨を述べた。

ア. 2023 年度事業報告の件

2023 年度事業報告について、事業の概況、業績状況を報告した。

イ. 2023 年度貸借対照表、損益計算書及び基金等変動計算書報告の件

2023 年度貸借対照表、損益計算書及び基金等変動計算書について、貸借対照表、損益計算書を中心に主な項目について報告した。

ウ. 相互会社制度運営報告の件

相互会社の仕組みと総代の定数、総代の選出方法、2023 年度ご契約者懇談会開催状況などについて報告した。

この後、議長は 2023 年度事業報告の中の、会社が対処すべき課題について報告した。続けて、資料に基づき、配当還元の充実について説明を行った。

3) 質疑

上記各報告事項の報告後、総代から事前に寄せられた以下の質問・意見に対し、議長及び議長からの指名を受けた担当役員より回答を行った。

○誰もが知っているハローキティがイメージキャラクターであることは、若い世代にも好評であると考えます。ハローキティを使ったイベントやPRをもっと実施いただけると企業の親しみやすさなど伝わるのではないかと。

○若い世代の契約者が少ないように感じる。若い世代が保険の必要性を感じ興味をわくような商品を検討いただきたい。

○生命保険会社として持続可能な発展・成長を実現するためにも、若年層の加入・長期的な関係強化が重要と思われるが、フコク生命の若年層加入状況や、

加入に向けた取組みや対応状況について教えてほしい。

○年金生活者である高齢者にとって保険料の負担は重くなっていく中で、日頃の健康管理で健康を維持している高齢者も多いように思う。長期加入者や健康な加入者に対する優遇措置を検討いただきたい。

○『契約者本位』というお考えの下、既に様々な取組みが行われていると思うが、全社的なコンサルティング能力の高度化や、健康支援、医療・介護との外部連携、保有データの利活用といった保険周辺領域への取組みなど、今後の方向性について教えてほしい。

○2018年に導入した携帯情報端末『PlanDo』について導入6年となるが、活用状況・効率化の進捗や不具合など含め、どのような状況か。

○PCやスマートフォンを利用したWEB上での手続きや保険料支払いについて、クレジットカード等のキャッシュレス決済の導入を検討していると聞いているが、進捗状況について教えてほしい。

○管理職の女性登用はある程度進んでいるようだが、女性役員の登用は遅れているように感じる。女性役員の登用について具体的な取組みがあれば教えてほしい。

○新卒採用が厳しさを増す中、十分な採用を実現することは企業の存続のためになくてはならないものである。生保各社で初任給の大幅な引上げがなされているようだが、人材の確保や離職の防止などについてどのような施策をお考えか。

○障がい者雇用実績と、どの様な業務を担当しているのか教えてほしい。

○地震が起きた際、どの様に連絡を取り対応するのか。過去の震災時の経験も含め、お聞かせいただきたい。また、本社が直接被災する可能性もあることも含め、富国生命のBCP対策をお聞かせいただきたい。

○公共のイメージ、知名度を上げるためにも、地域ごとに社会奉仕等に取り組

んではどうか。

○おやさいくレヨンの寄贈はとてもすばらしいが、その他一部の活動について、一定の都道府県でしか開催されていないように見受けられるため、その理由をお聞かせいただきたい。全国を網羅するのは大変だと思うが、この素晴らしい活動を少しでも何らかの形で波及させてほしい。

○地域における急速な人口減少、高齢化、災害頻発といった環境下でのサービスの維持・充実の工夫、地域貢献について関心がある。中期経営計画における『地域課題の解決に向け、グループ一体の取組み』の内容や今後の方針について教えてほしい。

○E S G 投融资や社会貢献活動などを続けられているが、S D G s に関する 17 の目標の表示など、他の企業がやっているようにアピールをしているのか。

○フコク生命は、以前から自己資本の強化として、内部留保の積上げを第一としているが、利益から将来に向けての積極的な投資をしてはどうか。1 つは I T (A I ・ D X) の活用である。これは必要不可欠であり、例えば携帯情報端末のハード面に加え、アプリや機能のソフト面の充実など、更なる利便性の向上へ投資してはどうか。もう 1 つはこれが最も重要な投資だが、職員・お客さまアドバイザーへの還元を実施することだと考える。各人のモチベーション向上に繋がり、ひいてはフコク生命の持続的成長の原動力になるのではないか。

○100 周年イベントに参加させていただき、100 周年プロジェクトは成功裏に終了したと思う。事業報告書に『これからも「THE MUTUAL」を掲げ、共感・つながり・支え合いをベースとした相互組織を進化させていく。』とあるが、具体的にどのような施策をお考えか。また 100 周年プロジェクトはフコク生命にとってどのような収穫があったのかを教えてほしい。

回答後、議長は、その他に総代から期待やお褒めの言葉などを頂戴していることについて述べた。

さらに議長は、出席総代に対して質問・意見などを求めたところ、以下の質問・意見が寄せられ、議長及び議長からの指名を受けた担当役員より回答を行った。

○フコク生命の歴史を従業員が理解し、社外に発信するのは非常に重要だと思う。リーフレットなどを作成して広く発信することで、フコク生命ファンが増え、次の100年につながるのではないか。

○長期継続契約者に配当を多く還元しているとの事だが、定期的に保障内容を見直している契約者に対しても配当は還元されるのか。

4) 決議事項の審議・採決

続いて、議長は、決議事項である第1号から第5号までの各議案について、それぞれ説明し採決を行う方法で審議を進めたい旨を述べ、出席総代に異議を問うたが、満場異議はなかった。

第1号議案 2023年度剰余金処分案承認の件

議長は、2023年度剰余金処分案、社員配当比率について説明した。

その後、議長は、本議案について異議を問い、採決したところ、満場異議なく原案どおり承認可決された。

第2号議案 社員配当準備金分配の件

議長は、配当のあらまし、社員配当準備金分配について説明した。

その後、議長は、本議案について異議を問い、採決したところ、満場異議なく原案どおり承認可決された。

第3号議案 定款一部変更の件

議長は、定款の一部について、「第102回定時総代会議案」に記載のとおり変更したい旨を述べ、自己資本の一層の充実を図るため、基金の再募集を行うことに

ともなう変更の趣旨・内容等を説明した。

その後、議長は、本議案について異議を問い、採決したところ、満場異議なく原案どおり承認可決された。

第4号議案 取締役11名選任の件

議長は、現取締役12名全員が本総代会終結の時をもって任期満了となることにともない、米山好映、林俊勝、渡部毅彦、北村康幸、砂本直樹、山田一郎、佐藤広、小巻亜矢、渡辺一、近藤健、吉田勇治の11名を、取締役として選任したい旨を述べた。なお、佐藤広、小巻亜矢及び渡辺一の3名については社外取締役の候補者である旨を述べた。

その後、議長は、本議案について異議を問い、採決したところ、満場異議なく原案通り承認可決された。選任された11名は全員就任を承諾した。

第5号議案 監査役4名選任の件

議長は、監査役 根津嘉澄、高橋恭平、大谷邦夫、重松秀明が本総代会終結の時をもって任期満了となることにともない、根津嘉澄、高橋恭平、渡部肇史、重松秀明の4名を、監査役に選任したい旨を述べた。なお、根津嘉澄、高橋恭平、渡部肇史の3名については社外監査役の候補者である旨を述べた。また、本議案については監査役会の同意を得ていることを述べた。

その後、議長は、本議案について異議を問い、採決したところ、満場異議なく原案どおり承認可決された。選任された4氏は全員就任を承諾した。

3. 閉会

議長は、以上をもって本定時総代会の議案全部を議了した旨を述べ、午前12時07分に、議長は第102回定時総代会の閉会を宣した。

以上の議事の経過及び決議を明確にするため、この議事録を作成した。

2024 年 7 月 2 日

富 国 生 命 保 険 相 互 会 社

第 102 回 定 時 総 代 会

議事録の作成に係る職務を行った取締役の氏名

代表取締役社長 米 山 好 映

以上